

# 第2章

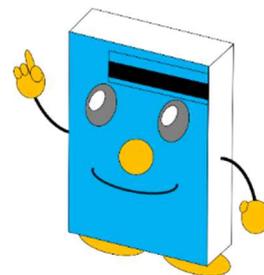
---

## 設定編

---

第2章では、「育成を目指す資質・能力」を児童生徒の生活に結び付ける学習活動の設定方法をStepごとに説明しています。

また、**参照**として、児童生徒の実態に応じた学習活動の調整・見直しの留意点や目標・評価規準の設定についても示しています。



# 「育成を目指す資質・能力」を 児童生徒の生活に結び付ける学習活動の設定

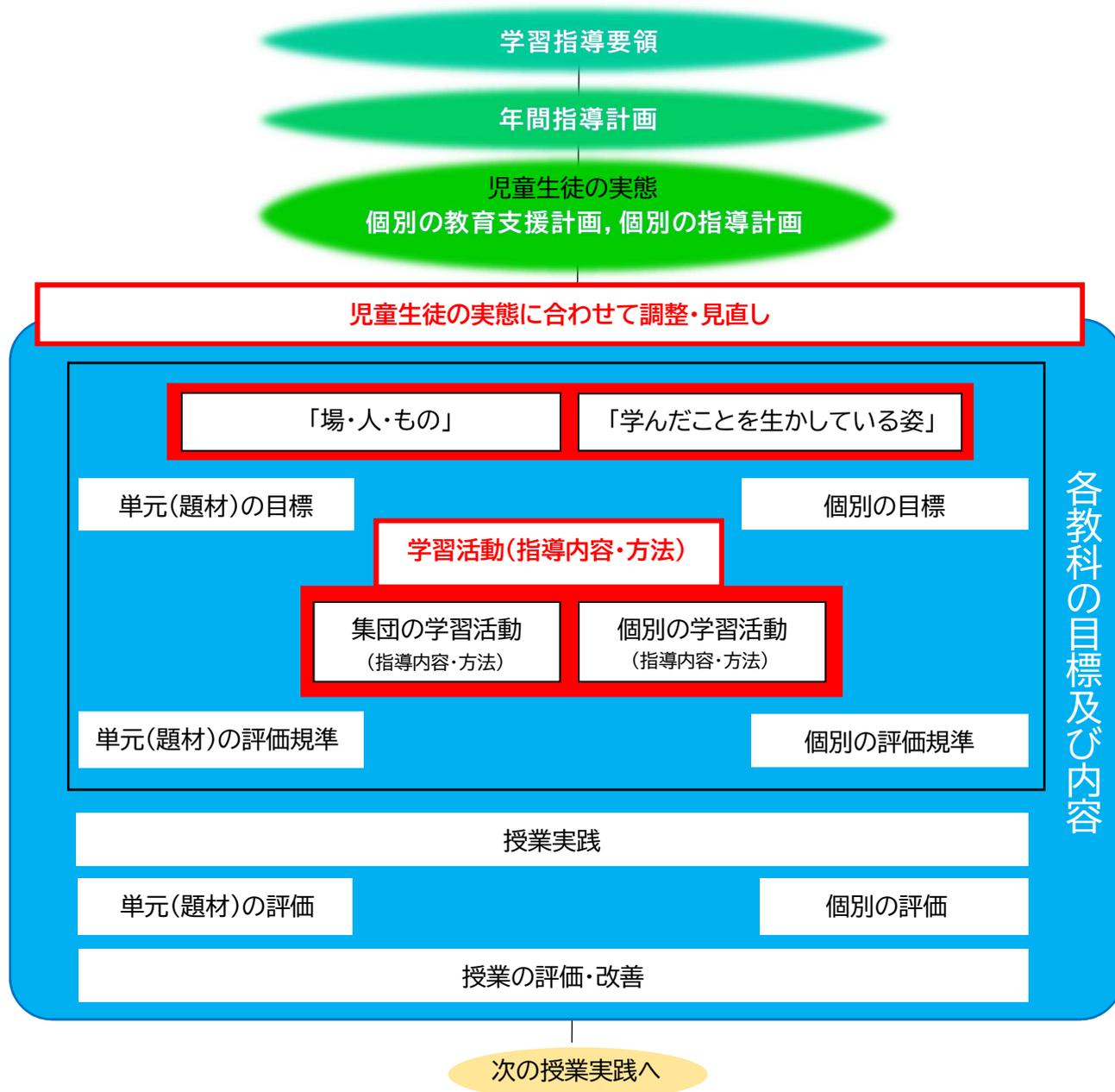
## 授業の構成図

下の図は、「育成を目指す資質・能力」を児童生徒の生活に結び付ける学習活動の設定を表した授業の構成図です。

年間指導計画や個別の指導計画等を基に、児童生徒の実態に合わせて学習活動の調整・見直しをしていきます。その際、【単元(題材)の目標】や【評価規準】などの事項はいずれとも相互に関わり合います。これらの事項に順序性はありません。

便宜上、五つのStepに分けて、次ページから説明していきます。

### 授業の構成図



## 学習活動の設定Step1～5・参照

**Step 1** 年間指導計画等の確認

**Step 2** 「学んだことを生かしている姿」の設定

**Step 3** 各教科の目標及び内容を調整・見直し

**Step 4** 個別の学習活動の設定

**Step 5** 集団の学習活動の設定

**参照**

目標、評価規準の設定、調整・見直しの留意点を示しています。

次ページから、「学習活動(指導内容・方法)設定シート」を使用していきます。

児童生徒の習熟度や発達段階に応じたグループ学習で、学習活動を設定することもできます。

## 学習活動の設定とツール活用イメージ

**ツール1** 場・人・ものマトリックス

**ツール2** 学習活動(指導内容・方法)設定シート



「場・人・ものマトリックス」(P1-9, 10, 11 参照)



「学習活動(指導内容・方法)設定シート」(P1-13 参照)

二つのツールを活用して学習活動を調整・見直しをします。

調整・見直し前の年間指導計画



年間指導計画(P3-1 参照)

調整・見直し後の指導計画



「学習活動(指導内容・方法)設定シート」(P3-3 参照)

調整・見直し



指導計画例(P3-4 参照)

「育成を目指す資質・能力」を見童生徒の生活に結び付ける学習活動が設定されます。







## Step 4 個別の学習活動の設定

個別の学習活動を設定します。学習活動はStep 2で記入した【学んだことを生かしている姿】【場・人・もの】と、Step 3で調整・見直しをした【各教科の目標及び内容】（育成を目指す資質・能力）を参考に考えます。「場・人」を授業の場面設定に、「もの」を教材・教具につなげることもできます。そうすることで、【各教科の目標及び内容】（育成を目指す資質・能力）と児童生徒の生活を結び付ける学習活動とすることができます。

### Step 4 個別の学習活動の設定



個別の【学習活動】を記入しましょう。

Step 3 で記入。

Step 2 で記入。

氏名	【各教科の目標及び内容】 （育成を目指す資質・能力）	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】
A 	・職業・家庭（家庭分野）C消費生活・環境ア（ア） （中学部1段階） ・国語A聞くこと・話すことエ （小学部2段階）	・目的に応じた店で、家族（支援者）と買物する。 ・商品やお釣の受け渡しができる。 ・店員と簡単なやり取りをする。 ・エコバックを持参して買物に行く。	場：目的に応じた店 人：店員、家族、支援者、友達 もの：紙幣・硬貨、財布、かご、レシート、エコバック

※【学んだことを生かしている姿】【各教科の目標及び内容】を参考に【学習活動】を考えます。

氏名	【学習活動】（指導内容・方法）
A 	・教師と一緒に買物の一連の流れを、別教室に設置した仮想店舗でシミュレーションする。 ・本物の紙幣や硬貨の受け渡しをする。 ・「これください」「お願いします」「ありがとうございます」等、店員との簡単な受け答えの練習をする。 ・購入した商品をエコバックに入れる。

（実際に授業で扱う【場・人・もの】例）

	Aさんの生活の【場・人・もの】	授業での場面設定，教材・教具
「場」	目的に応じた店	別教室に設置した仮想店舗
「人」	店員，家族，支援者	店員役の教師，支援する教師
「もの」	エコバック	エコバック

## Step 5 集団の学習活動の設定

集団の学習活動を設定します。Step 4で設定した個別の【学習活動】をできるだけ全員分取り入れて集団の学習活動を考えると、全員が十分に学べる単元となります。一斉での学習が難しいときには、一斉指導、個別指導、グループ指導等の指導体制について検討します。

### Step 5 集団の学習活動の設定

 【主な学習活動】【指導体制】【時数】を記入しましょう。

氏名	【学習活動】(指導内容・方法)
 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に買物の一連の流れを、別教室に設置した仮想店舗でシミュレーションする。</li> <li>・本物の紙幣や硬貨の受け渡しをする。</li> <li>・「これください」「お願いします」「ありがとうございます」等、店員との簡単な受け答えの練習をする。</li> <li>・購入した商品をエコバックに入れる。</li> </ul>
 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な商品を選び、自分で購入する。</li> <li>・買物に必要な物を自分で準備する。</li> <li>・店員に伝わりやすいように、視線や適切な声の大きさ、速さで話す練習をする。</li> </ul>
 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の選択や扱い方について知る。</li> <li>・店員に伝わりやすいように、間の取り方や表現を工夫する練習をする。</li> <li>・タブレット端末の電卓機能を使い、予算内で買い物ができる学習をする。(プリペイドカードを知る)</li> <li>・袋の有料化に伴うエコバック等について学習する。</li> </ul>



※個別の学習活動をできるだけ全員分取り入れて、全員が十分に学べる活動とします。



	【主な学習活動】(指導内容・方法)	【指導体制】	【時数】
集 団 で 設 定	1. オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目的及び内容について知る。</li> <li>・袋の有料化に伴うエコバックの活用等について学習する。</li> </ul>	一斉指導 一斉指導	1
	2. 買物練習① <ul style="list-style-type: none"> <li>・別教室に設置した仮想店舗で買物の流れを確認する。</li> <li>・個別の目標に応じた買物の仕方を確認、練習する。</li> </ul>	一斉指導 個別指導	1
	買物練習② <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の課題に応じた学習活動を行う。</li> <li>・それぞれの練習成果を発表する。</li> </ul>	個別指導 一斉指導	1
	3. 買物(当日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の近隣の商業施設へ行き、買物をする。</li> </ul>	一斉指導	3
	4. 振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を振り返り、学習の成果を発表する。</li> </ul>	一斉指導	1

## 参照

## 個別の学習における目標と評価規準の設定

Step 2, Step 3を踏まえて【学んだことを生かしている姿】から、調整・見直しをした各教科の目標及び内容を踏まえて目標と評価規準を設定します。目標と評価規準の設定方法については「みやぎ授業づくりガイド」で示していますので、ご覧ください。



<http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/jyugyoudukuri/>

「各教科等を合わせた指導」の場合、単元（題材）の目標が具体的にになれば、評価規準が目標と同じ内容になります。単元（題材）の目標を、更に具体的にした評価規準を設定するという考え方もあります。

【参考】「みやぎ授業づくりガイド」第2章2-20

## 個別の目標と評価規準



## Aさんの単元の目標

- ・買物学習を通して、金銭の必要性に気付くとともに、教師に援助を求めながら、買物に必要な言葉を理解して受け答えをする。〔知識及び技能〕
- ・買物に関わる人とのやり取りを通して、相手に注目したり挨拶したり、簡単な台詞等で表現できる。〔思考力、判断力、表現力等〕
- ・買物学習で学んだことを、気持ちを落ち着かせて生活や学習に活用しようとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

## Aさんの単元の評価規準

- ・買物学習を通して、金銭の必要性に気付くとともに、教師に援助を求めながら、買物に必要な言葉を理解して受け答えをしている。（知識・技能）
- ・買物に関わる人とのやり取りを通して、相手に注目したり挨拶したり、簡単な台詞等で表現している。（思考・判断・表現）
- ・買物学習で学んだこと生かし、気持ちを落ち着かせて生活や学習に活用しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

**参照****集団の学習における目標と評価規準の設定**

多くの児童生徒に対応できる目標を、三つの柱に沿って設定します。集団の平均になりそうな段階の指導内容を基に考えると、様々な段階の児童生徒に対応しやすくなります。評価規準は、単元（題材）の最後にどのような姿が見られるのかを想像して三つの観点で設定します。

目標と評価規準の設定方法については、「みやぎ授業づくりガイド」をご覧ください。

**目標と評価規準****単元の目標**

- ・買物学習を通して、買物の一連の流れや商品の選び方等を理解して買物ができる。  
〔知識及び技能〕
- ・買物に関わる人に伝わるように表現を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕
- ・買物学習に見通しを持って取り組み、学んだことを学習や買物当日に活用しようとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

**単元の評価規準**

- ・買物学習を通して、買物の一連の流れや商品の選び方等を理解して買物している。  
（知識・技能）
- ・買物に関わる人に伝わるように表現を工夫している。（思考・判断・表現）
- ・買物学習に見通しを持って取り組み、学んだことを学習や買物当日に活用しようとしている。  
（主体的に学習に取り組む態度）

## 参照 調整・見直しの留意点（各教科の目標及び内容）

児童生徒の実態とは、知的障害の状態、興味・関心、生活年齢、学習状況や経験等です。各教科の目標及び内容を児童生徒の実態に応じて調整・見直しをするときには、以下の事項に留意してください。

### 各教科の目標及び内容の段階

○知的障害のある児童生徒は、同一学年であっても知的機能の発達に個人差が大きく、学力や学習状況が異なります。そのため、特別支援学校学習指導要領の各教科の目標及び内容は学年別ではなく、段階を設けて示されています。

小学部			中学部		高等部	
1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階

【参考】特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部) 第4章第1節5  
特別支援学校学習指導要領解説 知的障害者教科等編(上)(高等部) 第2編第2部 第5章第1節5  
みやぎ授業づくりガイド第1章1-6, 1-7



### 特別支援学校(知的障害)における教育課程

○障害の状態により特に必要がある場合

- ・小学部・中学部は、幼稚部教育要領に示す各領域のねらい及び内容の一部を取り入れることができる。
- ・高等部の各教科の目標及び内容の一部を、当該各教科に相当する中学部又は小学部の各教科の目標及び内容に関する事項の一部によって替えることができる。

○小学部の児童のうち小学部3段階に示す各教科又は外国語活動の内容を習得し目標を達成している者、また、中学校の生徒のうち中学部の2段階に示す各教科の内容を習得し目標を達成している者については、児童生徒が就学する学部に対応する学校段階までの小学校学習指導要領又は中学校学習指導要領における各教科等の目標及び内容の一部を取り入れることができる。

【参考】特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 第1章第8節1(2)(4)(6)  
特別支援学校 高等部学習指導要領 第1章第8款1(2)  
みやぎ授業づくりガイド第1章1-3, 1-5



## 特別支援学級(知的障害)における教育課程

- 特別支援学級において特別の教育課程を編成する場合  
・各教科の目標や内容を下学年の教科の目標や内容に替えたり、各教科を、知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科に替えたりする。

【参考】小学校学習指導要領 第1章第4の2(1)イ(イ)  
中学校学習指導要領 第1章第4の2(1)イ(イ)  
みやぎ授業づくりガイド第1章1-4



## 指導計画作成上の配慮事項

- 指導内容の不必要な重複を避けたり、重要な指導内容が欠落したりしないように配慮する。
- 系統的、発展的な指導が進められるように指導内容を具体的に組織、配列する。
- 指導内容が広がりすぎて、焦点が定まらず十分な成果が上がらなかつたり、児童に過重になつたりすることのないように留意する。

【参考】特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚園・小学部・中学部)第3編第2章第3節



## 指導の形態

- 特別支援学校の小学部、中学部又は高等部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、特別の教科である道徳、外国語活動、特別活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせて授業を行うことができる。

【参考】学校教育法施行規則 第130条第2項  
「みやぎ授業づくりガイド」第1章1-8

